

《第150回》 令和七年十二月の作品

へ十二月十二日（金） 文京シビックセンター5Dへ

丹頂の一声に皆振り向けり （一江）

一葉忌母の言葉を思ひだす （平六）

穏やかやまた三年の日記買ふ （貴美）

冬ざれや大きな池の乱反射 （前歩）

凧の止みて眩しき日の出かな （孝昭）

晴天を貫くごとく冬木立 （奉男）

安青錦

祖国くにのため綱取り誓ふ冬茜 （正佳）

冬晴れや野菜畑と浅間山 （正雄）

待ち合はせ笑顔で外すマスクかな （隆治）